豊田	3工業高等		開講年度	和02年度 (2	020年度)	授業科目	英語講読 I A		
科目基础	楚情報				<u>-</u>				
科目番号		01130			科目区分	一般 / 必履修,選択必修(英)			
授業形態		講義			単位の種別と単位	,,			
開設学科		機械工学	<b>科</b>		対象学年	1			
開設期		前期			週時間数	2			
教科書/教	材	「Power (啓林	On English Communi館)/「理工系学生のた	cation I」(東 ための必須英単記	京書籍) 「Pow 吾2600」(成美堂	ower On English Communication I スタディノート」 〔堂〕、プリント教材			
担当教員		市川 裕理							
到達目	票								
(ウ)自分(	の意見や感想	ける基本的な 00語程度の記 思を基本的な	強勢や、文における基本 野彙を定着させ、新出75 表現を用いて英語でコミ	がいなイントネー の語について意 シュニケーション	-ション・区切り? 味が理解できる( ンを図ろうとする。	を正しく理解し receptive voc ことができる。	、音読することができる。 abularyのレベルの習得)。		
ルーブリ	リック		理想的な到達レベル	の目安	標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目	(ア)		語・句・文を正しく理解し、音読 することができる。		語・句・文を正しく理解し、教員 の助言を参考にしながら音読する ことができる。		員 語・句・文を正しく理解し、音読 することができない。		
評価項目	(イ)		中学で既習の語彙に加え、新出 750語の意味を理解できる。		中学で既習の語彙に加え、新出 750語の意味を教員の助言を参考 にしながら意味が理解できる。		考 中学で既習の語彙に加え、新出 750語の意味を理解できない。		
評価項目	(ウ)		基本的な表現を用いて英語でコミ ュニケーションを図ろうとするこ		教員の助言を参考にしながら英語 でコミュニケーションを図ろうと		語 英語 マコニーケーション を図え		
		TO 1 200			することができる	5.			
		頁目との関 >	• •						
		ミュニケーシ	ヨン能刀						
教育方》 概要	<del>広寺</del>	を適切に  とや経験	理解し、概要や要点をと したことに基づき、自分	て、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、教科書の本文を学びながら情報や考えなと解し、概要や要点をとらえることのできる読解力を養う。また、日常生活や身近な話題に関して、学んだことに基づき、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話し、まとまりのある文章を書いたりす じて、初歩的な英語運用能力を身に付けることを目標とする。					
授業の進	め方・方法	教科書の					uction)を行い、英語によるコミュニケ		
 注意点		英和辞典	<u> </u>		達成度目標の(	(ア)~(カ)は	、、「モデルコアカリキュラム」(英語		
	タン番別	<u></u> ・旧カリ科		=1火1。					
		・ロカライキ							
授業計画	<u> </u>	\m			T	カンド マカルキロ	7.4m		
			<u>授業内容</u> 単語テスト01 ガイダ:	 ンス、英語セル	フチェックニフ	週ごとの到達目標 セルフチェックテストができる			
前期		2週	<u>ト</u> 単語テスト02 Mt. Fu	ji - a Symbol o	of lanan(1)	Mt. Fuji - a Symbol of Japanに関する英文を読み、 内容把握ができる。			
		3週	単語テスト03 Mt. Fu	f lanan@	内合近推ができる。   Mt. Fuji - a Symbol of Japanに関する英文を読み、   内容把握ができる。				
		4週	単語テスト04 Mt. Fu	of Japan③	Mt. Fuji - a S 内容把握ができ	t. Fuji - a Symbol of Japanに関する英文を読み、  容把握ができる。			
	1stQ	5週	単語テスト05 Perforr	mance & Prese	entation	評価項目に沿ってPerformance (プレゼンテーショ) )を行うことができる。			
		6週	単語テスト06 Nagato Road to Success①	omo Yuto - a l	ong Hard	Nagatomo Yuto - a Long Hard Road to Success 関する英文を読み、内容把握ができる。			
		7週	単語テスト07 Nagato Road to Success②	ong Hard	Nagatomo Yuto - a Long Hard Road to Successに関する英文を読み、内容把握ができる。				
		8週	単語テスト08 Nagato Road to Success③	-	関する英文を認	atomo Yuto - a Long Hard Road to Successに -る英文を読み、内容把握ができる。			
		9週	単語テスト09 Nagatomo Yuto - a L Road to Success④		ong Hard		ito - a Long Hard Road to Successに 売み、内容把握ができる。		
		10週	単語テスト10 Perforr	mance & Prese		)を行うことだ	项目に沿ってPerformance (プレゼンテーション 行うことができる。		
		11週	単語テスト11 Kawaii and Japanese Pop		: Pop Culture	み、内容把握が			
	2ndQ	12週	単語テスト12 Kawaii and Japanese		: Pop Culture2	み、内容把握が			
		13週	道語テスト13 Kawaii and Japanese Po		r op cultures	み、内容把握が	and Japanese Pop Cultureに関する英文を 緊把握ができる。		
		14週	単語テスト14 Kawaii	スト14 Kawaii and Japanese Pop (		み、内容把握が	awaii and Japanese Pop Cultureに関する英文を読 、内容把握ができる。		
		15週	単語テスト15 英語講	ト15 英語講読IAの授業のまとめ			これまでに読んだ英文に関する語彙、語法、内容が理解できる。		
		16週							
モデル	コアカリ=		学習内容と到達目機						
分類		分野	学習内容 学習	内容の到達目標	<b>5</b>		到達レベル   授業週		

基礎的能力	•	30			45	25	100	
総合評価割合 30					45	25	100	
評価割合		中間試験			定期試験	課題	 合計	
分野横断的 汎用的技能 汎用的技能 汎用的技能				日本	語と特定の外国語の文章を読	3	前15	
		グローバリ ゼーション ・異文化 文化理解	グローバリ ゼーション ・異文化多 文化理解	異文化の事象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。			3	前4,前8,前 9,前13,前 14
	工学基礎			様々	な国の生活習慣や宗教的信条 て説明できる。	3	前4,前8,前 9,前13,前 14	
				それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる 寛容さが必要であることを認識している。			3 3	前4,前8,前 9,前13,前 14
		英語	英語運用能	英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。			レー	
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアル などの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。			ν <sub>3</sub>	
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる 平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答など のやりとりができる。			3	
				毎国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外 で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。			<sup>1</sup> 3	
				自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。			3 3	
基礎的能力			英語運用能 カの基礎固 め	実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略 (ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。			3	前5,前10
	科学			   母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。			3	前5,前10
	人文・社会 科学			日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、 100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。			3	前4,前8,前 9,前13,前 14
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報 を読み取ることができる。			图 3	前2,前3,前 6,前7,前 11,前12
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わる ように音読ができる。			3	前2,前3,前 6,前7,前 11,前12
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。			· 3	前4,前8,前 9,前13,前 14
			英語運用の 基礎となる 知識	中学 新出 切な	で既習の語彙の定着を図り、 語彙、及び専門教育に必要と 運用ができる。	高等学校学習指導要領に準じた なる英語専門用語を習得してù	<del></del> 適 3	前1,前2,前 3,前4,前 5,前6,前 7,前8,前 10,前 11,前12,前 13,前14,前
								351 350 35